　　令和６年度　米百俵プレイス ミライエ長岡 互尊文庫の取り組み

資料２

|  |  |
| --- | --- |
| **＜目的・概要＞** | |
| 利用者ニーズを反映した資料を取り揃え、いつ来ても楽しむことができる空間づくりを行う  ・利用者ニーズを把握します。  ・新鮮な資料の収集に努めます。 | |
| **＜取り組みごとの内容・評価・課題＞** | |
| １　市民インタビュー・テーマ別書架の運営   |  |  | | --- | --- | | 市民インタビュー | テーマ別配架の運営 | | H:\001企画担当\101_まちなか図書館\R6\84_BACH\インタビューワーク\240826_掲示物_インタビューワーク_互尊文庫\写真\0J5A3155.jpg  ▲幅允孝氏によるインタビュー | C:\Users\n0031721\Downloads\photo_20250129-095523.jpg  C:\Users\n0031721\Downloads\photo_20250129-090833.jpg  ▲企画棚「民藝と暮らしの道具」  ▲テーマコーナーの設置 | | **＜実績＞** | | | ○市民インタビュー：市民の興味・関心や求める図書を知るために開催した。  令和6年１０月２７日（土）3回開催　各回約４名の参加者  約１00冊の本を並べて、ブックディレクターの幅允孝氏が本についてインタビュー形式で普段の読書傾向から互尊文庫の現状の課題を聞き取る。  ○テーマ別書架の運営  新しい資料を購入しながら、1年間かけて「ひらめき」の企画棚を更新するとともに、テーマ別書架の運営を行った。写真は10月に更新した、企画棚のうちの１つ「民藝と暮らしの道具」  ○テーマコーナーの設置  地域おこし協力隊との連携展示として、業務に関係する本や人生の指針となった本の帯を書いて展示した。あわせて、移住などに関係する資料を展示し、利用者の興味をひく展示を行った。  このほか、新潟大学附属長岡小学校、阪之上小学校と授業に関連する連携展示を行った。 | | | **＜課題・今後の方針＞** | | | ・引き続き市民の図書に関する興味・関心を伺う機会を設け蔵書構築につなげる。  ・新鮮な資料を収集し、時期にあった企画棚の構築・テーマコーナーの展示を行う | |  |  | | --- | | **＜目的・概要＞** | | 気軽に誰でも利用でき、にぎわいを創出する  ・まちなかの居心地のよいリビング、憩いのサードプレイスとなるよう環境を整えます。  ・快適で利用しやすい環境づくりに努めます。  ・様々な世代に対応した多様な学習や交流の機会を提供します。 | | **＜取り組みごとの内容・評価・課題＞** |   ２　ひとりじかんｉｎミライエ長岡、１周年記念イベント   |  |  |  | | --- | --- | --- | | ひとりじかんｉｎミライエ長岡 | １周年記念イベント | | | ▲保育サービスを館内で行う | |  | | **＜実績＞** | | | | ○ひとりじかんｉｎミライエ長岡  昨年の試行して好評であった、ひとりじかんinミライエ長岡を２か月に３回のペースで開催。施設内でお子さんを預かり、子育て中の方にゆっくりと本を読む時間を提供する（各回10名）。  参加者には互尊文庫の利用方法の周知と利用促進のためブックツアーを行う。  ○１周年記念イベント  ７月２０・２１日に１周年記念イベントを開催した。  「セーラー服おじさんの超AI小説研究所」　ソフトウエアエンジニア　小林 秀章氏  AIと会話しながら、小説を作る２日間の連続講座 | | | | **＜課題・今後の方針＞** | | | | ・子育て中の方のニーズは多く、土日にも開催するなどニーズを探りながら方向性を深めていく。  ・引き続きミライエ講演会など定期的にイベントを開催し、にぎわいにつなげる。 | | |  |  | | --- | | **＜目的・概要＞** | | 利用者ニーズを反映した資料を取り揃え、いつ来ても楽しむことができる空間づくりを行う  ・積極的な広報活動、情報発信に努めます。  ・ＩＣＴを活用したサービスの提供でサービスの効率化と利便性の向上を図ります。 | | **＜取り組みごとの内容・評価・課題＞** | | |
| ３　インスタグラムでの発信、ICタグを活用した運営 | |
| インスタグラムでの発信 | ICタグを活用した運営 |
| C:\Users\n0031721\Downloads\photo_20250131-035156.jpg  ▲１２月７日投稿　長岡造形大学大学院と長岡  市が主催した、「他者理解を育む ききがきワ  ークショップ」の成果物の展示 | C:\Users\n0031721\Downloads\photo_20250129-095512.jpg  ▲蔵書点検　ハンディリーダー  ▲セルフ貸出機 |
| **＜実績＞** | |
| ○インスタグラムでの発信  互尊文庫インスタグラムを活用して、イベントや本の紹介の投稿を発信している。令和５年６月８日に初投稿を行い、令和７年１月末現在、約1,100人の方からフォローされている。  ○ICタグを活用した運営  初めてのユーザーであっても予約本の受取り、貸出、返却をスムーズに行っており、操作性が良く利便性が向上している。また、ICタグを使用した蔵書点検は1日で4万冊の作業が終了するため、休館日を設けずに月末休館日のみで対応できる。 | |
| **＜課題・今後の方針＞** | |
| ・若年層へ向けた情報提供として、引き続きインスタグラムを投稿し、積極的な広報に努める。  ・ICTを活用した利便性の高いサービスの周知に努め、利用につなげる。 | |